

地域の特性を活かして、地域で暮らし続けるための支援体制づくりに分野横断で取り組む ～切実な課題である移動支援を入りに～



秋田県羽後町

羽後町健康福祉課長・地域包括支援センター管理者：伊藤和恵
羽後町社会福祉協議会 SC うごまちおたすけ隊事務局：小林諭史
羽後町地域包括支援センター 認知症地域支援推進員：高橋遼矢

羽後町の概要



人口 13,239人

高齢者数 5,608人

高齢化率 42.4%

2024年4月30日現在



羽後町認知症にやさしいネットワーク形成事業 H20～
認知症地域支援体制構築等推進事業モデル地域 H22～
認知症地域支援推進員 H28～
認知症初期集中支援チーム H29～

認知症予防

認知症になるのを遅らせる
なっても進行を穏やかにする

- 若竹元気くらぶ H20～
- うご脳若返り教室 H22～



早期発見・早期 治療

- ファイブ・コグ検査 H20～
- もの忘れチェック機器 H21～
- 早期の段階から診断・相談・対応へ



悪化防止

- 学習療法 H22～
- 認知症ケアに関する研修会の実施 H21～



適切な

支え



認知症の

理解

- 家族介護者教室やケアスタッフ研修など在宅の介護を支えるための研修 H18～
- キャラバン・ラジオ屋など地域のカ・支える力の強化 (うごまちよりそいネットワーク模擬訓練、サロン活動など) H22～
- 多職種連携専門職チームの養成 (H28～30 認知症ライフサポート研修)
- 市民後見人養成 (R2～R3)
- 羽後町市民後見人の会 (R3～)



- 羽後町キャラバン・メイト養成研修 H21～
- 認知症サポーター養成研修 H20～
- 認知症サポーターステップアップ研修 平成29～
- 地域資源マップ作成 H22～ ケアパス作成 平成29～
- 当事者も参加する活動への支援
- 認知症カフェでゆるやかな学びの場の提供 H28～



町の食堂で認知症カフェ ～おさんぽオレンジかふえ～

家族から「免許をそろそろ返納したら？」と言われてている。

まだ運転できると思うけど、テレビで高齢者の交通事故の報道も多いし・・・

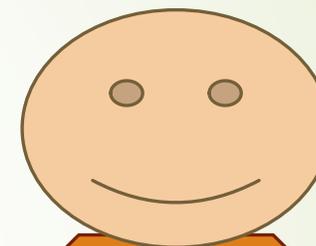


年取ったから「免許返納」とかってつらい話よね。
電車もバスもないし・・・

自動車学校でなんか練習会とかやってないのかな？

「生活の足である車をそう簡単にあきらめられないのです！」

自動車学校に気軽に運転の練習とかできるのか聞いてきますね～



推進員



自動車学校の職員で認知症サポーター養成講座受講したけど、その先は？

うごまちハッピー運転教室 & Dカフェ 令和元年度スタート

- ➡ 羽後自動車学校と羽後町地域包括支援センターの協力体制ができ（後に交通安全協会も参加）、高齢者の安心・安全な運転の継続と、運転免許返納の「客観的ものさし」として、新たな認知症カフェがスタート
- ➡ 参加費は1回3000円（スタート時）

※より参加しやすくなるように包括（推進員）が

提案・交渉し、現在1回 **1000円**に。



「うごまちハッピー運転教室&Dカフェ」の主な内容

Dカフェ タイム

- コーヒーを飲みながら、まずは「視力検査」と「もの忘れチェック」そして認知症を知る時間
- 高齢者の運転特性について学ぶ時間



実車訓練

- 教習所内のコースを使用し、**実際に運転**。（認知症サポーターの教習所指導員からの客観的な評価、助言）



認知症カフェ 参加者の声

- ・参加費3000円は高いと思う。年金暮らしだから。（80代女性）
- ・車庫入れがたいへんだった（80代女性）
- ・自動車学校の車は自分の車より大きいから運転しづらい。運転の仕方を見てもらえたのはよかった（80代女性）
- ・運転を自動車学校の先生にみてもらって、チェックしてもらったのでこの資料を家族に見せたい。（80代男性）
- ・運転はしばらくやっていなかったなのでとても不安だった。視力が悪くなっていたので眼鏡をなおさないと。同じ年代のひとたちと一緒に練習できるのは良い。（80代男性）
- ・今年更新するか迷っていたけど、あと一回はできるかな（80代男性）
- ・自分の運転のクセや危ないところを教えてもらった。息子にも「運転はあぶない」と言われていたのでわかっていたけど・・・。（80代女性）
- ・「運転するな」と家族に言われている。今日、自分の運転をみてもらった。危ないところなどを先生に具体的に教えてもらった。更新はしないと思う。（80代男性）



もの忘れチェック (物忘れ相談プログラム)

➡ 12点以下の人

- ① 70代女性 認知症予防活動継続
- ② 80代男性 介護保険申請 要介護 1
- ③ 80代男性 聴力・視力にも問題あり
介護保険申請へ
- ④ 70代女性 家族に報告
- ⑤ 80代男性 認知症カフェ
- ※ 13点だったけど・・・
- ⑥ 70代女性 介護保険申請 要介護 1 通所サービス

もの忘れ相談プログラム 相談日 平成26年03月05日

ID番号 0000000004	氏名 テスト タロウ	性別 男
施設番号 0000000001	生年月日 大正11年04月01日(91才)	

得点結果表

項目	言葉の即時再認	日時の見当識	言葉の遅延再認	図形認識1	図形認識2	合計
評点	3	4	6	1	1	15
得点	0	0	2	0	0	2

アドバイス

物忘れが始まっている可能性が疑われます。

得点結果表の解説

1. 言葉の即時再認 今聞いたことを覚えているかを尋ねる問題。
2. 日時の見当識 年、月、日、曜日などの時間が分かっているかを尋ねる問題。アルツハイマー型認知症では、日時の見当識がよく障害される。
3. 言葉の遅延再認 さっき聞いたことを覚えているかを尋ねる問題。アルツハイマー型認知症などの認知症では、この言葉の遅延再認がしばしば障害される。
4. 図形認識 1 立方体を用いて、視空間認知機能を診る問題。頭頂葉の障害を反映しており、アルツハイマー型認知症の発見に役立つ検査。
5. 図形認識 2 三角柱を用いており、立方体よりもむずかしい視空間認知機能を診る問題。

合計得点 13点以上については、現時点では物忘れは心配ありません。
12点以下については、物忘れが始まっている可能性が疑われます。

定期的に「もの忘れ相談プログラム」と対話しましょう

アルツハイマー型認知症は、いつはじまったのか明らかでなく、症状が緩やかに進行していきます。その為には定期的にこの「もの忘れ相談プログラム」と対話しながらテストを受けましょう。いまでは、治療薬の研究も進歩しています。大切なことは、「早めに気付いて医師に相談する事」が何より大切です。

監修 鳥取大学医学部教授 浦上克哉

うごまちハッピー運転教室 & Dカフェとして



「運転できる、車がある」
買い物、通院、知人への訪問など
さまざまな社会活動に参加するために大切な手段

「私たちができることは2つ」

- ① 認知症の方や明らかに運転に問題がある方は
免許返納へのアシストを速やかに
- ② そうでない方には安全に運転できる期間を
できるだけのばしていくお手伝いを！

免許を返納したその後は・・・？

- 介護保険で認定されたら、買い物などはヘルパーを利用
- ほかの認知症カフェで参加者同士のつながりで買い物のサポートを受ける
- 別世帯の家族に車をだしてもらおう
- タクシーを利用する

介護保険認定
されなかった
なあ・・・



タクシー便利だけど、
お金かかるなあ・・・
予約とれないときもあるし



親のことは心配だ
けど、休みのたび
に「車だして」、
と言われるのはな
あ・・・



羽後町生活支援コーディネーター




サロン「まごころ」

月曜日～金曜日（祝日休み）
9:30～14:30
場所：バザール様前

サロン活動のご紹介

羽後町内で行われているサロン活動の一部をご紹介します。ここで紹介しきれない活動は今後の「ふれあい」にて随時紹介させていただきます。

田畑元気な村づくりプロジェクト
場所：田畑生活改善センター



サロン「とっぴんぱらり」

毎月第1土曜日
13:00～15:30
場所：むかし語り館




サロン「おひさま」

毎月第3木曜日
10:00
～
12:00
場所：仙道公民館

サロン活動とは？
地域で高齢者や障がいのある方、子育て中の方等が、生きがいと元気に暮らすきっかけづくりを見つけ、地域の人のつながりを深める自主活動の場です。交流の場を設けることで、住民の地域への関心を深め、近隣の助け合いを育む地域づくりを目指します。

サロン「赤沢・仲間のみ」

毎月1回～2回開催
場所：赤沢集落会館

サロンカフェ「のなか」

毎月第2日曜日
9:30～11:30
場所：野中集落会館

～サロンのメリット～

1. 心と体のリフレッシュができる
2. 仲間や生きがいができる
3. 地域のネットワークができる

どのサロンも公民館や集会所を活用して、無理のない範囲で定期的の実施しています。お茶会やレクリエーション等の誰でも参加できる趣味活動、季節の行事等アイデア次第で様々なことができます。

サロン「かっち」

毎週水曜日・土曜日
10:00
～
15:00
場所：仙道てんぼ内

この福祉だよりは、共同募金の配分金で発行されています。

目指す地域像

一人ひとりが
お互い様の気持ちで支え合い
共に生きていくまち



「自分がしてもらいたいこと」のカードを選び、次に「誰かこれをしてくれませんか？」と交渉その班でニーズが満たせるかどうかを確認した



30種類の要望に対し、
25種類が助け合いで解決可能



とんとん拍子に進んだよ
うにみえますが・・・

フォーラムから勉強会へ

- ➡ 令和元年10月12日 助け合いの地域づくりinうご【台風により**延期**】
- ➡ 令和元年12月22日 助け合いの地域づくりinうご開催 講師 堀田 カ 氏
- ➡ 令和2年1月11日 第2層協議体候補者の**第1回勉強会**開催
- ➡ 令和2年2月29日 第2回勉強会【新型コロナウイルス感染拡大により**延期**】
- ➡ 令和2年3月15日 「ふれあい天童」加藤氏を招いての地域づくり講演会
新型コロナウイルス感染拡大により**中止**】
- ➡ 令和2年7月26日 **第2回勉強会**開催【さわやか福祉財団によるオンライン】
- ➡ 令和2年8月29日 **第3回勉強会**開催【さわやか福祉財団によるオンライン】
- ➡ 令和2年10月26日 第2層協議体候補者顔合わせ
(立ち上げ予定だったが・・・)
- ➡ 令和2年11月13日 コロナ禍でも助け合いを継続するための**勉強会**
NPO法人ふれあい天童加藤由紀子氏



ターニング
ポイント！

「いつまでも勉強会だけやっても始まらないじゃないか」

うごおたすけ隊を立ち上げるまで①

令和3年 前半

さまざまな団体に有償ボランティアの説明

令和3年8月24日

移動支援についての研修会

NPO法人全国移動サービスネットワーク

副理事長河崎民子氏

令和3年9月2日

いきがい・助け合いサミットにて町長が発表

「自分たちも町民。“0”を“1”にする活動をしてみよう」

苦労を共にした社協SCと健康福祉課、包括職員でやってみる

ターニングポイント！

「自分たちも町民。“0”を“1”にする活動をしてみよう」
まずは苦勞を共にした社協SC・行政（健康福祉課）・包括職員でやってみる



包括沼沢



行政柴田

- ・ 1回500円の送迎つき買い物支援
- ・ 活動可能な土曜のみ
- ・ 車は社協の公用車



SC小林

「活動してみたい」という気持ちが高まっているが、 一歩ふみだせない「おたすけ隊未満」の住民の声



高齢者の方を車にのせて謝礼をもらうのは「白タク行為」なのでは・・・？



いろいろ難しい手続きがあるなら面倒だなあ～



役場とか生活支援コーディネーターがルールを決めてくればいいのに



令和元年からモヤモヤしている。
いつまで同じことをやっている！

うごおたすけ隊を立ち上げるまで②

令和4年10月23日 おたすけ隊（仮）初の出動

（まずはSC、包括、行政職員から）

令和4年1月

住民も交えて複数回にわたって試行実施

→「これくらいならできそうだ」



ターニングポイント！

令和4年3月1日

ついに！！

うごおたすけ隊決起集会



SCとしておたすけ隊のためにやったこと

- 規約を作成（活動内容や謝礼について）
- 社協で携帯電話を準備（共同募金助成事業）
- 毎月第3木曜日を定例ミーティングに（元々借りていた別事業の会場と併設）
- ボランティア保険の加入
- （送迎サービス補償・福祉サービス総合補償を組み合わせ切れ目なく）
- **腕章・ステッカー**などのグッズ作成（見た目から入ることも大事）
- 活動への参加者（協力者含む）で**グループLINE**を作成（手軽に情報の共有が可能に）
- 自動車学校での安全運転講習・救命講習



うごおたすけ隊

第1段階

- 社協公用車を使用し、まずは苦労を共にした社協SCと行政、包括職員で「おたすけ隊」
- 携帯電話への予約やグループLINEによるマッチング（連絡がスムーズで簡素化できてきた）

第2段階

- 「送迎ボランティアはまだちょっと。でも店内の付き添いのみなら」というおたすけ隊員
- だんだんと職員の対応が減り、おたすけ隊員が自分の車で送迎するように

第3段階

- 毎週土曜日のほかに、実施は少ないものの水曜日も追加
- 月1回の定例会で情報共有、近況報告も効果的



うごおたすけ隊

～利用者 本人の声・おたすけ隊の声～

たいした助かってる。
別の店にもいきたいなあ。
曜日が決められているの
がなあ……。
ずっと続けてほしい。
(80代男性)



支払いのときチャージしたり
するのにも手伝ってもらっ
た。
おたすけ隊は店の中も案内
してくれるし、声掛けが
あったかい。心強いね。
(80代 女性)



・「買い物支援より病院を」、という
声があるけど、往復はなあ……。

・体調を崩されたり、お怪我をされた
ときの連絡先を決めてほしい
(60代 女性 おたすけ隊)



うごおたすけ隊

～利用者本人の声 おたすけ隊の声～

公用車じゃなくて、自分の車で行ってもよいけど。でも、保険とか、もしものときは？
(60代男性 おたすけ隊)



認知症の診断を受けたから、免許を返納した。

おたすけ隊のおかげで馴染みのスーパーにまた行けるようになった。

ひさしぶりに知り合いから声をかけてもらって嬉しい。
(80代 女性)



SCから見た「うごおたすけ隊の課題」

課題はたくさんありますが・・・

- 希望者と担い手のマッチング
- 山間部の希望者への対応
- 通院送迎への対応
- 住民主体の事務局運営
- 曜日や時間帯のより柔軟な対応
- 公共交通・タクシー業者との共存
- 他団体への波及効果などなど



在宅介護支援センター、地域包括支援センター・ 推進員を経て、行政へ



認知症サポーター
住民キャラバン・メイト



羽後町市民後見人の会R2

- ・在宅介護支援センター
- ・地域包括支援センター
主任ケアマネ
元上司は市民後見人に

「知る人ぞ知る!？」 うごおでかけバスとうご乗合タクシー 羽後町町民生活課

なんか難しい。
情報多くて目に入
ってこないの
よ・・・

(認知症カフェ
参加者の声)

「うごおでかけバス」のご利用について

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
運行区域	軽井沢(牛ノ沢)・田代(明通、菅生)地区	新成地区	三輪地区	飯沢・元西地区	西馬音内地区
	下仙道・田代(樺中、猿子沢)地区	明治地区	軽井沢(露倉・杉沢)・田代(門前)地区	中仙道・上仙道地区	軽井沢(田茂ノ沢)・上到来地区

乗車料金は乗車1人1回100円です。乗車料金は乗車1人1回100円です。乗車料金は乗車1人1回100円です。

乗車料金は乗車1人1回100円です。乗車料金は乗車1人1回100円です。乗車料金は乗車1人1回100円です。

乗車料金は乗車1人1回100円です。乗車料金は乗車1人1回100円です。乗車料金は乗車1人1回100円です。

令和6年度の「うご乗合タクシー」 「うごおでかけバス」について

◆令和6年度の「うご乗合タクシー」のダイヤは以下の通りです。
令和6年度「うご乗合タクシー」ダイヤ

経井沢線	▲は土曜日運休 ※は土曜日のみの運行 日・祝日は運休
▲ 7:53	8:03 8:06 8:22 8:27 12:55 12:59 13:16 13:19 13:29
※ 9:33	9:43 9:46 10:02 10:07 17:08 17:12 17:29 17:32 17:42

上到来線	▲は土曜日運休 ※は土曜日のみの運行 日・祝日は運休
▲ 7:50	7:56 8:03 8:22 8:27 12:55 12:59 13:19 13:26 13:32
※ 9:30	9:36 9:43 10:02 10:07 17:08 17:12 17:32 17:39 17:45

仙道線	▲は土曜日運休 ※は土曜日のみの運行 日・祝日は運休
▲ 7:52	8:03 8:09 8:22 8:27 12:55 12:59 13:13 13:19 13:30
※ 9:32	9:43 9:49 10:02 10:07 17:08 17:12 17:26 17:32 17:43

新成・明治線	▲は土曜日運休 ※は土曜日のみの運行 日・祝日は運休
▲ 8:08	8:12 8:15 8:22 8:27 12:55 12:59 13:07 13:10 13:14
※ 9:48	9:52 9:55 10:02 10:07 17:08 17:12 17:20 17:23 17:27

雄勝中央病院線	週2日(月・金)「平日」のみ運行
▲ 8:00	8:05 8:10 8:15 8:20 13:30 13:35 13:40 13:45 13:50

※經由地の通過時間は目安の時間です。ゆとりを持って早めにお待ちください。

もっと見やすいパンフレット
に変えようと思って



うごおでかけバス・乗合タクシーの予約方法

- ・午前便は、前日の午後5時まで、
- ・午後便は、当日の午前10時までに「電話予約」が必要です。

※『氏名』『利用日』『乗降地』などをお知らせください。

☎ 73-2151 (株)湯沢タクシー

乗合タクシー 料金

路線名	発着	経由・終着	料金
【経井沢線】	軽井沢地区 安倍商店 600円	田代地区 500円	※西馬音内町 乗車1人1回100円
【上到来線】	上到来地区 遠山商店 600円	田代地区 500円	下仙道地区 500円
【仙道線】	上仙道地区 上松山 600円	中仙道地区 500円	飯沢地区 400円
【新成・明治線】	明治地区(高尾田含む) 藤原建設工業 400円	新成地区 300円	
【雄勝中央病院線】	大戸・新地 大戸会館 400円	野中・赤袴 300円	

※西馬音内町 乗車1人1回100円
※小学生以下、障がい者手帳所持者

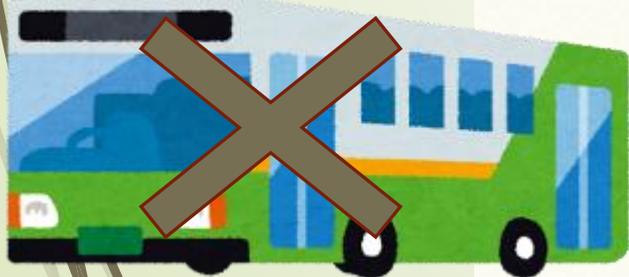
いいね(^^♪
でも、それ町民生
活課の事業だ
し・・・



「うご乗合タクシー・うごおでかけバス」で不明な点は、
町民生活課(☎62-2111)までお問い合わせください。

羽後交通のバスは西馬音内・三輪・元西地区の一部運行あり

田代
仙道
(元西の山間部)
明治
新成
7地区のうち4地区
のバスの路線廃止



雄勝中央病院に通院したい元西地区のAさんのスケジュール(理想)

元西地区のどこから徒歩数十分
朝8時21分 元西公民館前
8時28分 羽後警察前
8時54分 湯沢営業所
そこから中央病院行のバスに
乗り換えて20分程度?
9時半頃 雄勝中央病院前着

薬局によれるかどうか・・・

午後1時45分 雄勝中央病院発
午後2時 湯沢駅前
午後2時45分 元西公民館前着

うご乗合タクシー

(羽後町町民生活課のバス廃止区間補填事業)

- ▶ バス廃止区間の補填という目的から、乗降場所を設定し、距離に応じた（利用料300円～600円）を支払う
- ▶ 利用したい人はあらかじめ予約をする
- ▶ 決まった乗降場所なし



羽後病院に通院したいBさん

自宅から高瀬ケア近くまで徒歩数十分

朝8時 3分 高瀬ケア前

8時30分 コプニ巨福前

羽後病院まで徒歩10分程度 9時くら

いに羽後病院？片道600円

羽後病院から徒歩10分程度

12時59分 コプニ巨福前

午後1時20分高瀬ケア前

自宅まで徒歩数十分

片道600円

うごおでかけバス（バス路線は運行できません）

- ▶ うごおでかけバスはドアtoドアで町の主要施設に移動できるサービス
- ▶ 利用したい人は事前登録をする。エリアで利用できる曜日が決まっている。
- ▶ 片道500円
- ▶ 運行時間 午前便西馬音内着 午前10時
午後便西馬音内発 午後2時

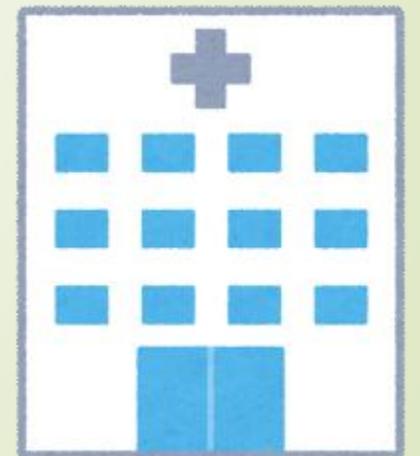
田代地区のCさんは西馬音内のスーパー
に買い物に行きたい（金曜に限る）
前もって事前登録をして
予約を入れて
午前9時半頃自宅に車がくる
午前10時に西馬音内エリアに到着

西馬音内ショッピングセンターエリアに
食堂はない お弁当買う？
午後2時に西馬音内エリア出発
午後2時半～3時くらいに自宅着



まずは担当課の町民生活課と町立病院へ

- ▶ 町民生活課の担当事業である「うごおでかけバスとうご乗合タクシー」の情報を、改めて見やすいパンフレットとして健康福祉課のメンバーでつくりたいというのは「やる気があって素晴らしい」とはいえ・・・
- ▶ となりの課の管理職と主担当者に方向性を説明し、「うごおたすけ隊」と「うごおでかけバス・うご乗合タクシー」の情報交換会への協力依頼。
- ▶ 町立病院にも「高瀬号」という送迎バスがあるので、病院（事務長）へ協力依頼。（山間部の送迎バスの説明とおたすけ隊について理解をしてもらう）



うごおたすけ隊と生活環境課・病院との 情報交換会

羽後町にそんなサービスがあるの知らなかったよ。宣伝が足りないね。

病院のバスは乗り降りのサポートスタッフいます。でも買い物目的には利用できないんですよ。

もとバス路線の通過エリアの人はドアtoドアの「おでかけバス」は利用できないんです。資料には載せてますけど・・・

通院はおたすけ隊として手伝えるけど、往復は無理かも。特に帰りね。

おむつと食材の買い物袋を抱えた杖歩行の高齢者を見て、「おたすけ隊があるよ」と紹介した。今日の説明を聞いて、こういうのも利用できるんだ、とわかった。でも、情報、見づらいね。



情報交換後のうごおたすけ隊からの声

- ➡ 今のパンフレットは自分の地区で想定して見ると、情報を探すのがたいへんだった。高齢ならもう見ないね。
- ➡ 私たちは今は60代だけど、5年後、10年後は助けられたい側になるかも。そもそもおたすけ隊の他に、こんなサービスがあるのを知らなかった。知っているひとは少ないと思うよ。
- ➡ 免許返納を考えている全町民が、おたすけ隊だけでなく地域の公共交通のサービスを知っていればいいのに。
- ➡ **まずは、おたすけ隊で、地区ごとに情報を整理してみようか。おたすけ隊の利用者に感想聞いて、わかりやすい資料にしよう。そして宣伝しよう。**
- ➡ **生活応援資源マップ^o（健康福祉課担当）の情報に載せてもらおう。**

市町村認知症施策推進計画を策定することが望ましいとされています

市町村地域福祉計画
重層的支援体制整備事業実施計画
市町村地域福祉計画
市町村介護保険事業計画
市町村障害福祉計画
市町村障害児福祉計画
個別避難計画
市町村子ども・子育て支援事業計画
市町村こども計画
市町村老人福祉計画
市町村高齢者居住安定確保計画
市町村健康増進計画
市町村食育推進計画
市町村行動計画
特定健康診査等実施計画
地域包括支援センターBCP



(2024年4月1日より、介護事業所においてBCP（事業継続計画）の策定が義務化)

羽後町第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画

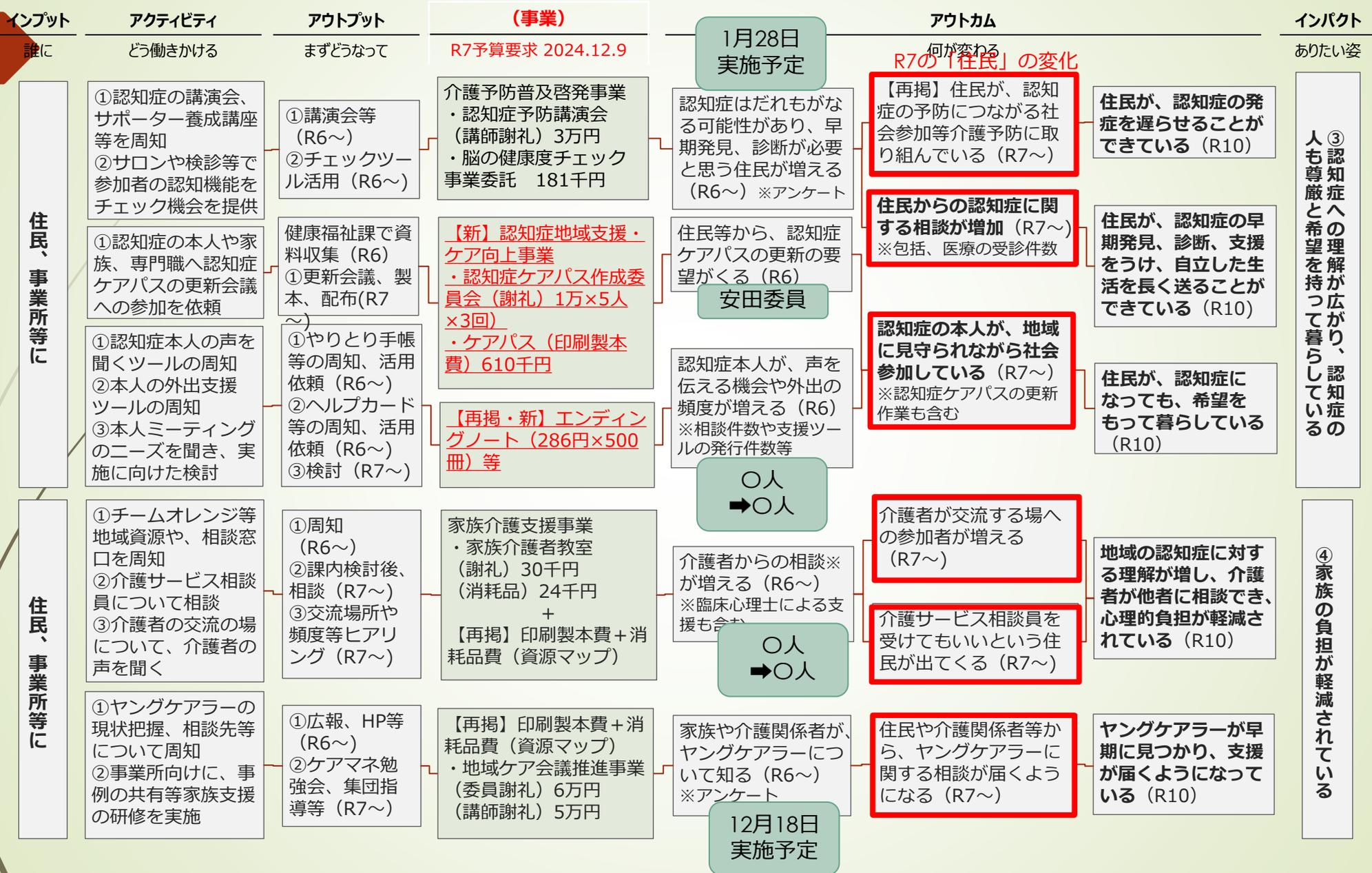
- これまでの認知症施策などでかかわってきた認知症の人とその家族、地域の住民の声をもとに介護保険計画を作成
 - ①それぞれの基本目標に対して課題仮説をたてる
 - ②仮説に対してインプット（誰に）
アクティビティ（どう働きかける）
 - ③アウトプット（まずどうなって）
アウトカム（何が変わる）
 - ④インパクト（ありたい姿）
- 目標を達成しているか確認する指標 アウトカムの令和7年～8年部分を設定
- 月に一度、進捗状況を各担当から報告し、「ありたい姿」に向けてどんな変化につながったかを情報共有



【基本目標2】 住み慣れた地域で、安心して暮らし続ける

仮説	インプット	アクティビティ	アウトプット	アウトカム	インパクト	
課題仮説	誰に	どう働きかける	まずどうなって	何が変わる	ありたい姿	
現状 ・認知症に関する相談窓口は、3割しか知らない ・家族介護者の不安や負担増大（認知症状への対応、入浴や洗身等） ・認知症の本人の外出できている割合が少ない ・ヤングケアラーの存在 課題 ・認知症に対する対処方法が分からない ・在宅で介護度の高い高齢者と同居している割合が他市町村に比べ多い。また、在宅生活困難理由に認知症高齢者の暴力・暴言があがっている ・本人が外出して行方不明になる可能性がある ・ヤングケアラーの補足が困難 真因 ・相談窓口の周知不足 ・認知症に対する正しい知識の啓発不足（本人に対する接し方含む） ・家族が安心して本人を外出させるツールの周知及び普及不足 ・ヤングケアラーを課題と認識していなかった	住民、事業所等に	①認知症の講演会、サポーター養成講座等を周知 ②サロンや検診等で参加者の認知機能をチェック機会を提供	①講演会等（R6～） ②チェックツール活用（R6～）	認知症はだれもがなる可能性があり、早期発見、診断が必要と思う住民が増える（R6～）※アンケート	【再掲】住民が、認知症の予防につながる社会参加等介護予防に取り組んでいる（R7～）	住民が、認知症の発症を遅らせることができる（R10）
		①認知症の本人や家族、専門職へ認知症ケアパスの更新会議への参加を依頼	健康福祉課で資料収集（R6） ①更新会議、製本、配布（R7～）	住民等から、認知症ケアパスの更新の要望がくる（R6）	住民からの認知症に関する相談が増加（R7～）※包括、医療の受診件数	住民が、認知症の早期発見、診断、支援を受け、自立した生活を長く送ることができる（R10）
住民、事業所等に	住民、事業所等に	①認知症本人の声を聞くツールの周知 ②本人の外出支援ツールの周知 ③本人ミーティングのニーズを聞き、実施に向けた検討	①やりとり手帳等の周知、活用依頼（R6～） ②ヘルプカード等の周知、活用依頼（R6～） ③検討（R7～）	認知症本人が、声を伝える機会や外出の頻度が増える（R6）※相談件数や支援ツールの発行件数等	認知症の本人が、地域に見守られながら社会参加している（R7～）※認知症ケアパスの更新作業も含む	住民が、認知症になっても、希望をもって暮らしている（R10）
		①チームオレンジ等地域資源や、相談窓口を周知 ②介護サービス相談員について相談 ③介護者の交流の場について、介護者の声を聞く	①周知（R6～） ②課内検討後、相談（R7～） ③交流場所や頻度等ヒアリング（R7～）	介護者からの相談※が増える（R6～）※臨床心理士による支援も含む	介護者が交流する場への参加者が増える（R7～） 介護サービス相談員を受けてもいいという住民が出てくる（R7～）	地域の認知症に対する理解が増し、介護者が他者に相談でき、心理的負担が軽減されている（R10）
住民、事業所等に	住民、事業所等に	①ヤングケアラーの現状把握、相談先等について周知 ②事業所向けに、事例の共有等家族支援の研修を実施	①広報、HP等（R6～） ②ケアマネ勉強会、集団指導等（R7～）	家族や介護関係者が、ヤングケアラーについて知る（R6～）※アンケート	住民や介護関係者等から、ヤングケアラーに関する相談が届くようになる（R7～）	ヤングケアラーが早期に見つかり、支援が届くようになっていく（R10）
		③認知症への理解が広がり、認知症の人も尊厳と希望を持って暮らしている	④家族の負担が軽減されている			

【基本目標2】住み慣れた地域で、安心して暮らし続ける



③ 認知症への理解が広がり、認知症の人も尊厳と希望を持って暮らしている

④ 家族の負担が軽減されている

目指すところは



認知症の診断を受けた人だけでなく

「誰もがいきいきと安心して暮らせる
そんな羽後町にしたい！」



うごくまち 羽後町！！

第7回



認知症とともに
生きるまち大賞

これからも

地域のみなさまと共に歩んでいきます
それぞれの持ち味を生かして
それぞれの世代の強みを生かして

「うごくまち 羽後町！！」

羽後町キャラバン火曜サロン（認知症カフェ）の動画あり YouTube 「あきたびじょん 羽後町」で検索

自動車学校の認知症カフェとうごくおたすけ隊の動画あり

秋田県広報番組あきたびじょんNEXT
2019 vol. 7 「みんなで創ろう！暮らしやすい地域」
羽後町の認知症カフェが紹介されています。



うごくまちキャラバン・メイ
ト認知症サポーター協会か
らうごくおたすけ隊へ

つながる羽後町

カフェ

外出

連携

2023年受賞

秋田・羽後町

ご静聴ありがとうございました。